



## HSMニュース

## 海務監督による訪船指導の実施！

先日、弊社管理船において用船者の変更があり、今後航路も貨物の種類も大きく変わる事になることから、各種説明や指導等を実施すべく、当社の業務提携先であり海務関連業務、特にカーゴの取り扱いに関するプロフェッショナルである「マリントランスシステム」に協力してもらい訪船指導を実施して頂きました。

同社には、普段から当社管理船の運航状況をモニタリングして貰っており、今回の新しい用船者についても熟知しているので、今回は先ずは、今後の航路・各港の特性や注意点、可能性のある貨物の特性や取り扱い等について、船長及びC/Oを中心に説明指導して頂き、更に現場にて今回の貨物の積み付けや固縛等についても指導して貰いました。



【本船とのミーティング】

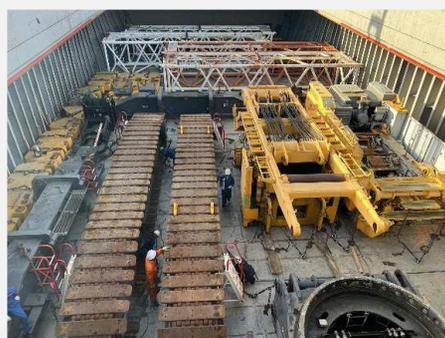
また今回は、今までに無かった建機積み(In hold及びDeck積み)があったので、そちらについては、荷役のSupervision、積付・固縛状況の確認もして貰いました。今回は2日に渡って訪船して頂き、乗組員への説明指導もしっかり行って貰い、本船では初めての貨物の荷役のSupervisionもしてもらい非常に有意義なものとなりました。

また、一般点検も合わせて実施して貰ったので、本船のコンディション確認も出来て良かったです！

またタイミングが合えば他の当社管理船にも訪船して貰おうと考えております。



【C/Oと共に貨物状態を確認】



【積切チェック】

全ての貨物に固縛が取られている事、及びその固縛点数の確認指示、不足の場合増し取り指示



【ON DECK積載】

軽量でかつバランスの良い貨物を優先、また固縛は艙内以上に増し取りするよう指示

今後も、この様に色々なプロフェッショナルな人達とも連携していき、自分達だけでは弱い部分や行き届かない部分などを補完しながら管理のクオリティを上げていきたいと思っております！



面白い名言集を目にしたので、久しぶりにこのコーナーを掲載したいと思います！

皆さんも良くご存知の吉田松陰の言葉をいくつか紹介したいとおもいます。

「超訳」ですので、原文そのままではありませんが、誰よりも遠くを見据えながら、幕末を熱く駆け抜けた天才思想家である吉田松陰の思いが表現された言葉達ですので、心に響きます！

## “恥ずかしいこと”

凡人はまわりから浮いていることを恥じ、賢人は細かいことを気にする自分を恥じます。

凡人は外見が地味であることを恥じ、賢人は中身が伴っていないことを恥じます。

凡人は自分の評価が低いことを恥じ、賢人は自分の才能が使い切れていないことを恥じます。

本当の恥を知らない人間が、私は苦手です。

## “なんでもやってみる”

できないのではなくて、ただやっていないだけです。

まだやったことがないことを、「怖い」「面倒くさい」「不安だ」と思う感情は、過去の偏った経験が作り出す、ただの錯覚です。

実際にやってみれば、意外とうまくいくことの方が多いのです。

## “いけるときは今しかない”

出し惜しみしないでください。

「いざとなったらできる」というのは、ふだんからチャレンジを繰り返している人だけが言えるセリフですよ。

## “勝因はどこにあったか”

才能、知識、人脈。

それらはいくらあっても、最後の最後は役に立ちません。

地道なことを、どれだけ丁寧に積み重ねられるか。

ただそれだけが、大きなことを成し遂げる基盤になるんです。

## “出会いと別れ”

来るものは拒みません。

ですから、その人が今までどれだけ駄目だったか、性格が悪かったかは、別に知りたくないですし、どうでもいいのです。

去るものは追いません。

ですが、あの人がどれだけ素敵でいい人だったか、どういうわけか、いつまでも忘れられないんです。

## “丸くなりたくない人へ”

今までの常識を無視しようとする人。

周囲から止められても、なかなかあきらめようとしない人。

それ以外は全員、並の人です。

如何でしたか？

何だか熱くなりませんか？私はまたもっと頑張ろうという気になってきました。

## 船舶管理システム関連…新会社「株式会社HSM」の設立について

この度、日生シippマネージメント株式会社では、弊社のグループ企業として2023年10月2日に「株式会社HSM」を設立いたしました。

新会社？と思われる方もいらっしゃるかと思いますが(むしろ皆さんそうかもしれませんね)、以前より何度も本紙上でご案内しております「クラウド型船舶管理システム」の販売を本格的に行っていくのにあたり、新たに会社を立ち上げたものです。



敢えて「新会社での販売」として分けた理由ですが、大きな理由として、今回開発を進めている「クラウド型船舶管理システム」は、より多くの船主様・船舶管理会社様にご利用頂きたいという思いもあり、船舶管理業とは事業を切り分け、船舶管理会社から独立した運営として、その事業に注力し、より沢山のお客様にご提案していければと考えたものです。

そして、会社名の「HSM」は、本紙「HSM通信」にも使っている、日生シippマネージメントの愛称『HSM』と同じですが、ただ略したものを付けたという事ではございません。右側が新会社のロゴで、その下に名称由来が書いており、「High Solutions for Maritime」の頭文字を取ってHSMとなっています。

これは、株式会社HSMについて単なるシステム開発・提供会社ではなく、その記載通り「海運に関する“高度な”解決策を提供する会社」となるべく、この名称といたしました。

海運業に携わっている方ならほとんど皆さんが肌で感じているであろう人や技術、知識など、業務に関わる問題・不安等を様々な形で解決する一助となるべく、事業展開を今後図っていきたくて思っております。今回のシステムはその解決策の一つとして皆様にご提案・ご提供していくもの、という位置付けです。

船舶管理システムについては、引き続き前号にてご紹介していた他企業様によるトライアルを継続しており、現在順調に進んでおりますので、いよいよ来年より正式リリース、販売開始して参ります。また、おかげさまで現時点でも販売パートナーである「海力株式会社」様を通して新たなお引き合い等頂いており、順次ご案内出来ればと考えております。

また、船舶管理システム自体もPMS(Planned Maintenance System)の開発を行っており、来年早々には動作検証後正式にご案内出来る様進めております。また、ドキュメント管理についても、当社でも是非欲しい機能ではありますが、既に何件かお問い合わせ頂いている状況にあり、来年ご案内出来る様開発を進めていく所でございます。

今回の新会社設立を皮切りに、いよいよ本格的に事業として進んで参りました。多くのお客様のお役に立てるよう精進して参りますので、今後とも、日生シippマネージメント株式会社並びに株式会社HSMに対し、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



ロゴは、力強いHSMの文字とグループ企業として共通の錨マークとしました

※余談ですが、この錨のマークは「AI」を使い、何十パターンも出力、その中から採用しました。「AI」の進歩もすごいですね！

### 【新会社概要】

会社名：株式会社HSM(読み:エイチエスエム 英語表記:HSM Co., Ltd.)

住所：岡山県備前市日生町寒河2570-31 サンバース2階

代表者：代表取締役社長 横田 雄輔

事業概要：・システム及びWebサービスの企画及び開発、並びにサービスの提供

・船舶に関連する各種代行業務並びにコンサルティング業務

・船舶傭船ブローカー業務 他

Webサイト：[www.hsmjp.co.jp](http://www.hsmjp.co.jp)



## ピックアップ!

ここでは、私共が目にして気になった記事やニュース等を紹介させていただきます。  
海運に関する事や海運に関係なくても興味がわく様な内容の物を色々紹介していきたいと思ひます!

こんにちは！今回も悩み多きほぼアル中オヤジの私が気になった言葉をピックアップして語ってみました。

今回ご紹介する言葉は、結構有名な言葉だと思うので、ご存じの方も多くいると思いますが、人によって捉え方や解釈の仕方も様々だと思います。皆様はどの様に感じるでしょうか？

### 「ただ生きるのではなく、善く生きよ」

これはギリシャ哲学の祖、ソクラテスが残した言葉です。

若者を墮落させたという罪によって死刑宣告を受けたソクラテスですが、逃亡しようと思えばいつでもできたにも関わらず、敢えて死刑を受け入れた時に発した、彼の知への愛を表す言葉として伝えられています。

う～ん、「善く生きる」とはどういうことだろうか？

どのように生きるべきなのか？ どう生きることが、幸せなのだろうか？

考え始めたら、色々と疑問が尽きません。それとも私が酔っているだけなのでしょう。

人間にとって大切なことは「どれだけ生きるか」ではなく、「いかに生きるか」であり、善く生きることは「正しく生きること」とも言えると思います。

人間以外にも生き物はたくさんいます。

しかし、何かを考え、意志を持ち、理性を持って生きているのは人間だけではないでしょうか。

真の幸福とは、ただ己の欲望を満たすことではなく、人間らしい【正しく健やかな魂をもって生きること】そのものにあるということを言いたかったのではないのでしょうか。

何をもって善いとするのか、「善」の基準は人それぞれなのかもしれません。

しかし、人間が人間として生きることには、単に食事をしたり、欲求を満たして生きながらえること以上の目的と価値があり、漫然と動物のように欲求の赴くまま「ただ生きる」のではなく、より善く、正しく生きることこそ価値があり、そしてそうしようとする「姿勢」が大切なのではないのでしょうか。

そして、そうやって善く生きることで、人は幸せを感じる事が出来るのではないのでしょうか。

### 「ただ生きるのではなく、善く生きよ」

年の瀬も押し迫り、慌ただしく動くなか、間もなく迎える新しい一年を「善く生きる」ために、皆さんは、何を考え、何をしますか？

欲求の赴くままに生きてきた煩惱の塊であるこの私が、少し酔っ払って哲学的なことを考えてみました。

せっかくなので、私もこの言葉を心の中心に置いて、新しい一年を過ごしていこうと思ひます。

次の日には記憶が無くなっていると思ひますので、今の内に文章として残してみました...

# 海運基礎知識 「船のマーキング (標示) について」

皆さんご存知の通り、船体には様々な文字や記号が書かれています。そして、当然これらには全て意味があります。ということで今回は、それらの内、目に入りやすいものについて少し触れてみたいと思います。

## 1. 船名及び船籍港

写真1は、船首部外板に書いてある船名。船首には船籍港名は書かない。基本的にはその国の国字で書くが、補足的に英字も書く場合が多い。日本国籍の場合は日本文字と英字との併記となる。

写真2は船尾外板に書いた船名と船籍港名。その船が登録されている国の港を船籍港という。

写真3は船橋頂部に掲げた船名板。船の名前を船橋上部の暴露部に表示する。



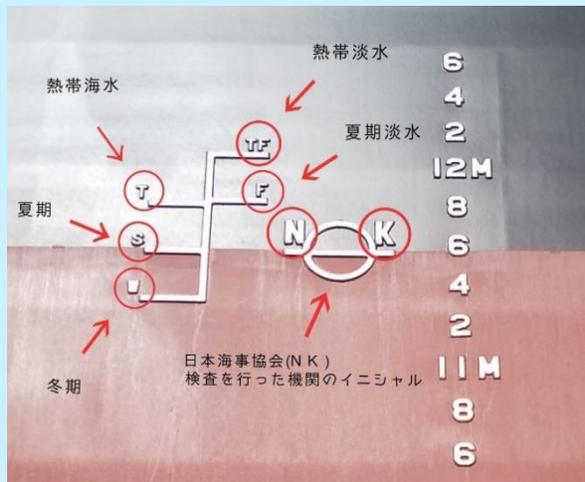
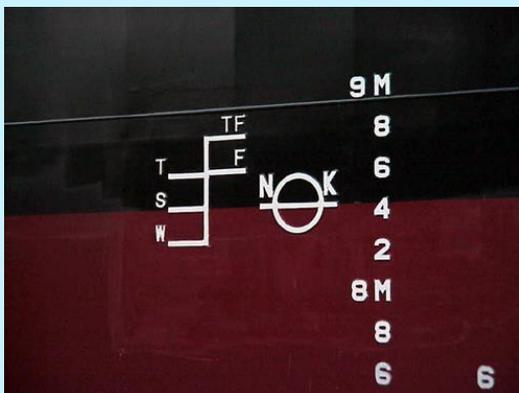
## 2. 喫水と乾舷 (Draught and Freeboard)

喫水とは、船の水中に沈んでいる部分の垂直距離のことをいい、そのマークを喫水標、喫水マークともいう。通常、船首・船尾・中央の3ヶ所に表示されています。

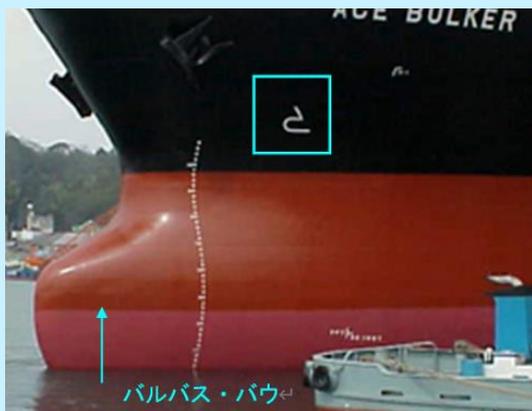


また、喫水を見る時は、その数字の下部を見ます。そしてその数字の高さは10cmありますので、それを踏まえて喫水を確認します。

フリーボード・マーク (Freeboard mark) とは、船が或る季節の或る海域で貨物を搭載しようとした時に、ここまでしか貨物を搭載してはいけないという喫水の制限を一目瞭然の形にしたマークであり、乾舷マーク、乾舷標ともいう。また、このフリーボード・マークのことを、このルールの起草者である政治家の名前から、プリムソル・マーク (Plimsoll's Mark) ともいう。



### 3. ハルバス・パウ (Bulbous bow)



水色で囲んだマークはこの船がバルバス・パウ(球状船首)を有していることを示している。

貨物を満載すると球状部分は水面下に没水し見えなくなり、小型船が船首に接近して航行すると危険なため、このマークを描き注意を喚起している。

### 4. ファンネル・マーク (Funnel mark)

化粧煙突の外側に、その船を所有或いは運航する会社のマークを描いている。言わば、その船を所有(運航)する会社の顔とも言える。



### 5. 区画マーク (Compartment)

写真1の意味はT字の縦線から向かって右側はHold No.3 (第3貨物艙)で、向かって左側がHold No.2 (第2貨物艙)であるということである。

写真2は同じく縦線から向かって右側はNo.4 Water Ballast Tankで、向かって左側はNo.3 Water Ballast Tankを意味している。

[写真1]



[写真2]



今回は、誰もが知っているであろう基本的なマークを説明しましたが、船にはまだまだたくさんのマークがありますので、また機会があれば紹介したいと思います。

以上

